

在宅医療・介護連携推進の取り組みに関するアンケート結果

実施期間：令和6年8月1日～8月31日

方法：郵送にて依頼。回答はFAX及びWEB

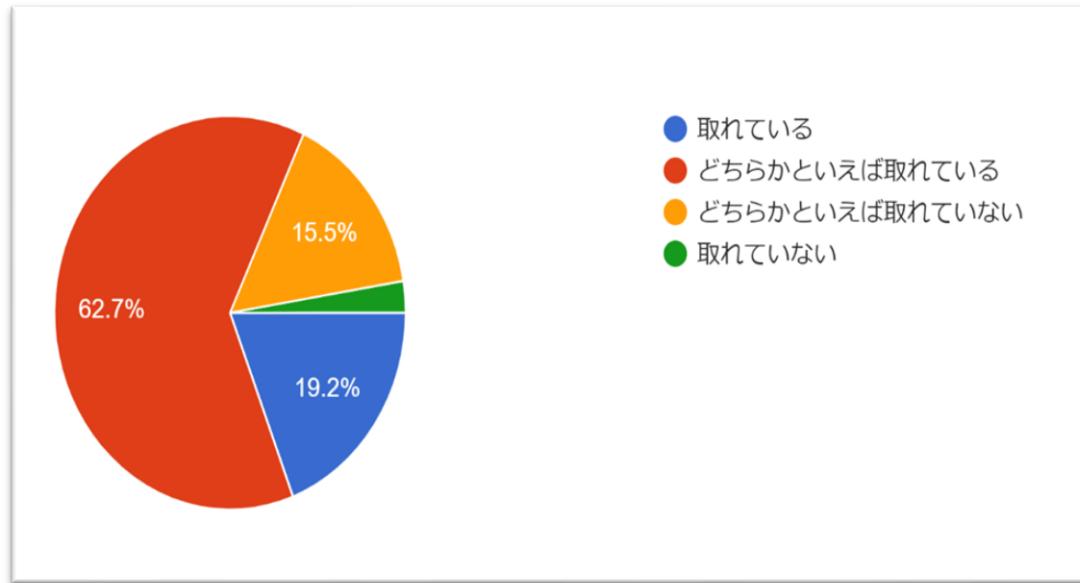
対象及び回収率：以下一覧表のとおり

施設種別	施設数	回答数	回答率
病院	13	9	69.2%
有床診療所	13	5	38.5%
無床診療所	78	24	30.8%
歯科診療所	72	11	15.3%
薬局	58	29	50.0%
訪問看護ステーション	20	20	100.0%
居宅介護支援事業所	34	30	88.2%
訪問介護事業所	32	10	31.3%
通所介護事業所	58	13	22.4%
訪問リハビリ	7	4	57.1%
通所リハビリ	11	5	45.5%
訪問入浴	1	1	100.0%
地域包括支援センター	8	5	62.5%
入所施設等(小規模多機能、ショート含)	100	27	27.0%
合計	505	193	38.2%

I. 日常業務における多職種連携について

問1. 患者(利用者)も関わる医療・介護職種間の連携は取れていると思いますか。

(193件の回答)



「連携が取れている」「どちらかといえば取れている」を合わせると、約82%

「連携が取れていない」「どちらかといえば取れていない」を合わせると、約18%

両者の違いとして見受けられる意見の特徴(キーワード)

「連携が取れている」「どちらかといえば取れている」からは、以下のとおり支援者の積極的な姿勢が伺える。

・分からぬことや何かあった時などは随時連絡を取る

・積極的に連絡を取り合っている

・日頃から

・こちらから

・常に

「連携が取れていない」「どちらかといえば取れていない」からは、支援者のかかわりの薄さ、消極的な姿勢が伺える。

・日常あまり連携の状況がないので

・特定の業種としか連携をとっていない。

・必要となる場面に遭遇していないため

・人が足りず、不十分な内容になっている。

・時間的に余裕がない

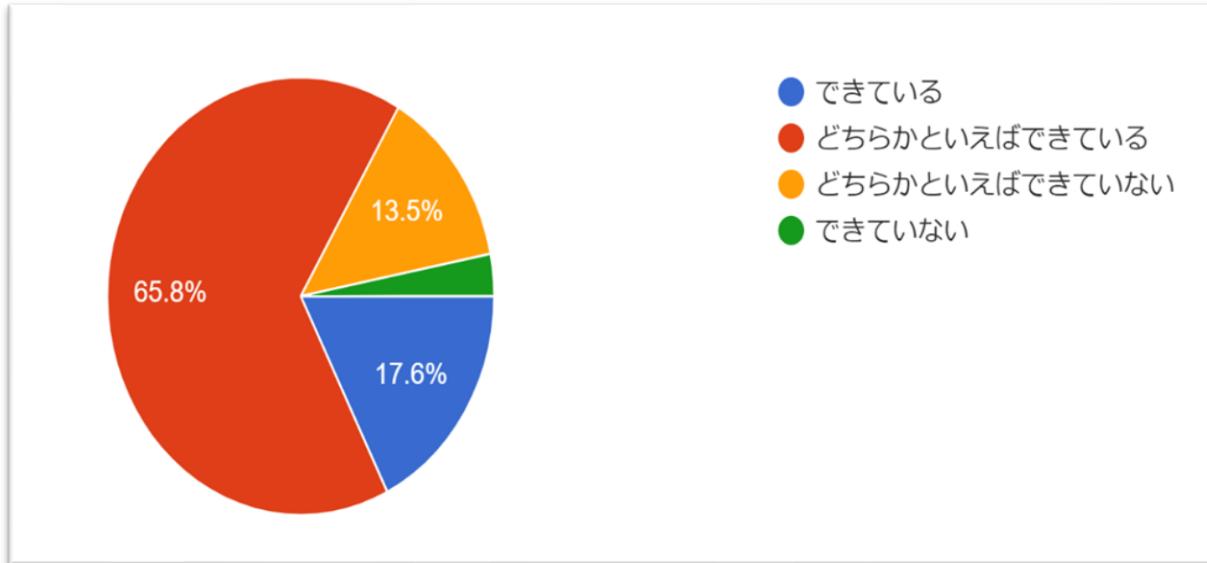
・忙しく連携をとるタイミングを逃すことがある。

・どう連携を取ればいいのかわからない事業所がある

・報告書のやり取りは行えているが、リアルタイムのやり取りが乏しい

問2. 患者(利用者)を支援する関係者間での情報共有ができますか。

(193件の回答)



「情報共有ができる」「どちらかといえばできる」と合わせると、約83. 5%

「情報共有ができない」「どちらかといえばできない」と合わせると、約16. 5%

両者の違いとして見受けられる意見の特徴(キーワード)

「連携が取れている」「どちらかといえば取れている」からは、以下のとおり**支援者の積極的な姿勢**が伺える。

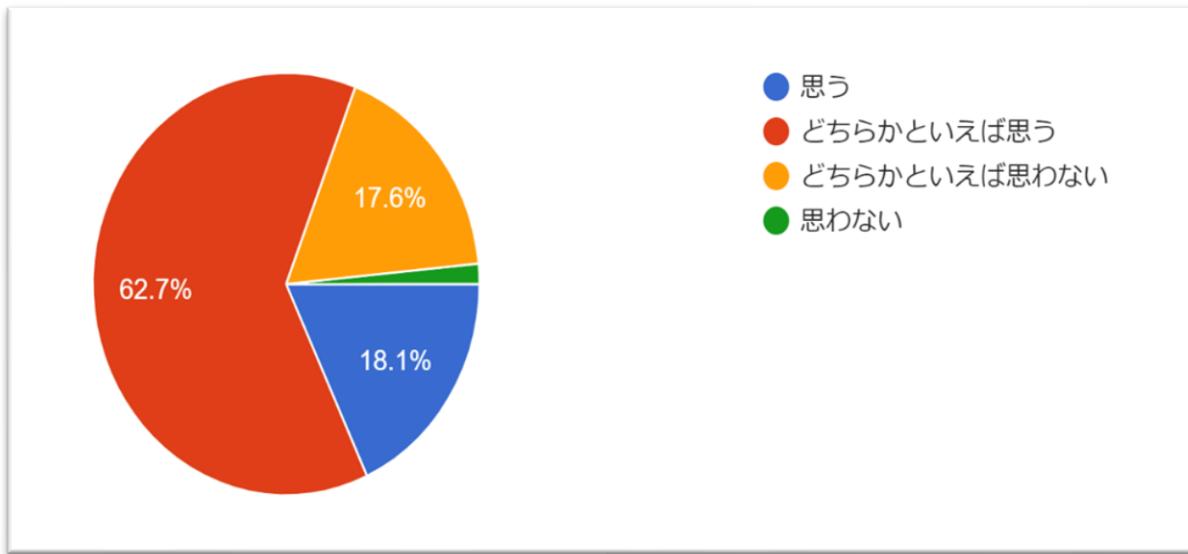
- ・**関係者も連携の必要性を共有**している
- ・**気になること等あればその都度**、状況確認し報告連絡行っています。
- ・連携ツールも活用している。間に合わなければ、電話連絡している。
- ・**必要時の担当者会議には100%出席**。日程調整ができるように事業所としての体制が整っている
- ・何かあればお互い**情報共有**しているし、**関係が密**である。地域が狭いので。
- ・できるだけ**密に連絡をとる**ように心がけている
- ・他事業所や行政との情報交換を**意識して**行っている
- ・情報のinアウトプットに気を付けています。現場の意見を活かせるよう**努力**している
- ・**関係者情報共有の意識**が高まっていて、情報をよく戴くので共有し易くなつた
- ・足らない場合、必要な情報はとりにいくので支障はない、と思っている
- ・情報共有できる**環境を作っている**

「連携ができない」「どちらかといえばできない」からは、**支援者のかかわりの薄さ、消極的な姿勢**が伺える。

- ・在宅患者がいない
- ・共有の機会が少ない
- ・連携方法がわからないので
- ・ケアマネージャからの問い合わせに答えるだけの状態であるため。
- ・特定の業種としか連携とれていない

問3. 患者(利用者)を支援する関係者から情報を得やすいと思いますか。

(193件の回答)



「情報を得やすいと思う」「どちらかといえど思っている」を合わせると、約81%

「情報を得やすいと思わない」「どちらかといえど思わない」を合わせると、約19%

両者の違いとして見受けられる意見の特徴(キーワード)

「連携が取れている」「どちらかといえど取れている」からは、以下のとおり**支援者の積極的な姿勢**が伺える。

- ・情報を得られる**関係づくり**はできている
- ・聞きたいことがあれば**自分で聞くように**している
- ・自分の専門外のところも関係者からフォローしてくれる
- ・連絡すると、細やかな情報収集できる体制
- ・得やすいが、病院によっては家族のみと断られる。退院の連絡がないこともまれにある
- ・情報を得にくいと思ったことが、あまりない
- ・情報を得やすい環境にある
- ・**日頃から**何でも連絡をしてくれている
- ・個人情報を理由に一切の情報を得られないケースもある。一方、多職種連携の必要性に関する意識は広がりつつあるという実感もある。
- ・ツールを利用して
- ・取りやすいところと取りにくいところがあるが概ね取れている
- ・地域差や関係先によっても違いはあるが、**宗像福津じゃ良好**だと思う

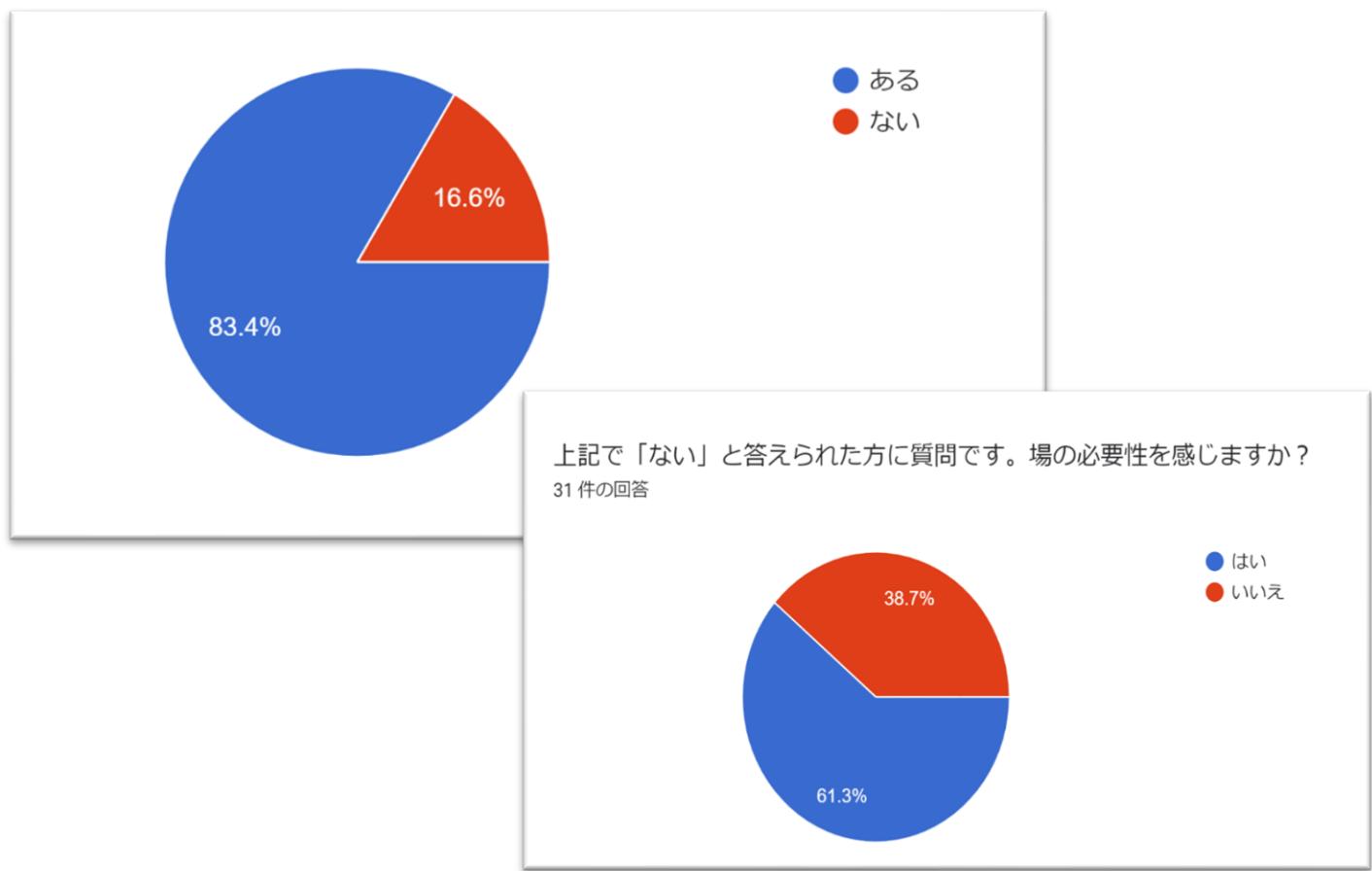
「情報を得やすいと思わない」「どちらかといえど思わない」からは、**支援者のかかわりの薄さ、消極的な姿勢**が伺える。

- ・ドクター同士の手紙を介護職が閲覧し、情報取得することは困難と思う
- ・情報を得る場がない
- ・**情報共有するツールがない**
- ・情報頂ける方とそうでない方と差はある

- ・ケアマネジャーとはやり取りがしやすいが、他事業所には連絡しにくさあり
- ・情報が多くて混乱している
- ・通所系との情報共有が難しい、ヘルパーともそう感じる
- ・急な退院支援の転院で受け入れ先探しを頼まれ、医療間での調整になったが、その後の結果連絡は来ず家族からの連絡で知った。こちらが依頼した先の医療機関からの連絡で、報告がなかったと思う
- ・自ら聞かないと分からない。情報提供されることは少ない
- ・訪問系の事業所になると担当者は訪問で不在の時が多く、必要な時に連絡が取れない
- ・機会が乏しいと思う

問4. 業務で困った時に相談できる場(他医療機関や事業所、会議等)はありますか。

(193件の回答)



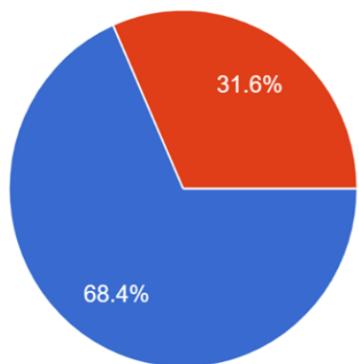
場の必要性を感じた方「どのような場があつたらよいか」の意見

- ・必要と思われるサービスの妥当性の評価を高頻度出して欲しい
- ・訪問介護はネットワークがないため気軽に話し合える場がない
- ・現場で困った時の相談場所。福祉の資源について
- ・何でも電話相談、窓口
- ・介護報酬加算を取得するにあたり、病院を協定を締結する方法がわからず聞ける場所があつたらよいと思う

Ⅱ. 情報共有するための方法について

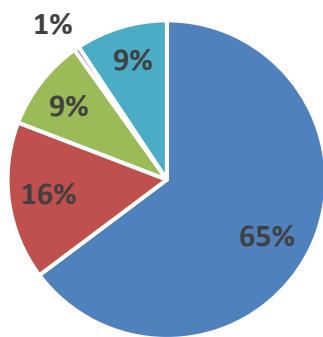
問5. 他の事業所と情報共有するための方法や手段を決めていますか。

(193件の回答)



● 決めている
● 決めていない

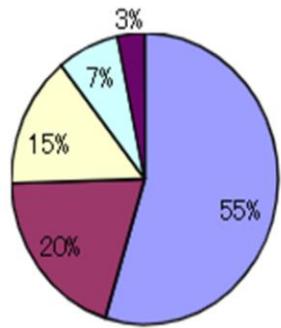
情報共有方法(複数回答193件)



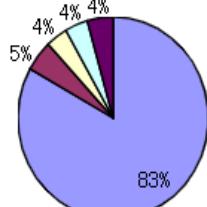
■ 電話やFAX
■ メール
■ 多職種連携ツール
■ むーみんネットシステム
■ その他

情報共有方法(複数回答334件)

令和4年



令和元年度の場合



■ 電話やFAX
■ メール
■ 独自のツール
■ 多職種連携ツール
■ その他

情報共有の方法として、「電話やFAX」、「メール」の活用が約80%を占めている。

ICT等の活用については、過去と比較しても、あまり伸びていない状況。

多職種連携ツールについては、少し利用割合が増えている。

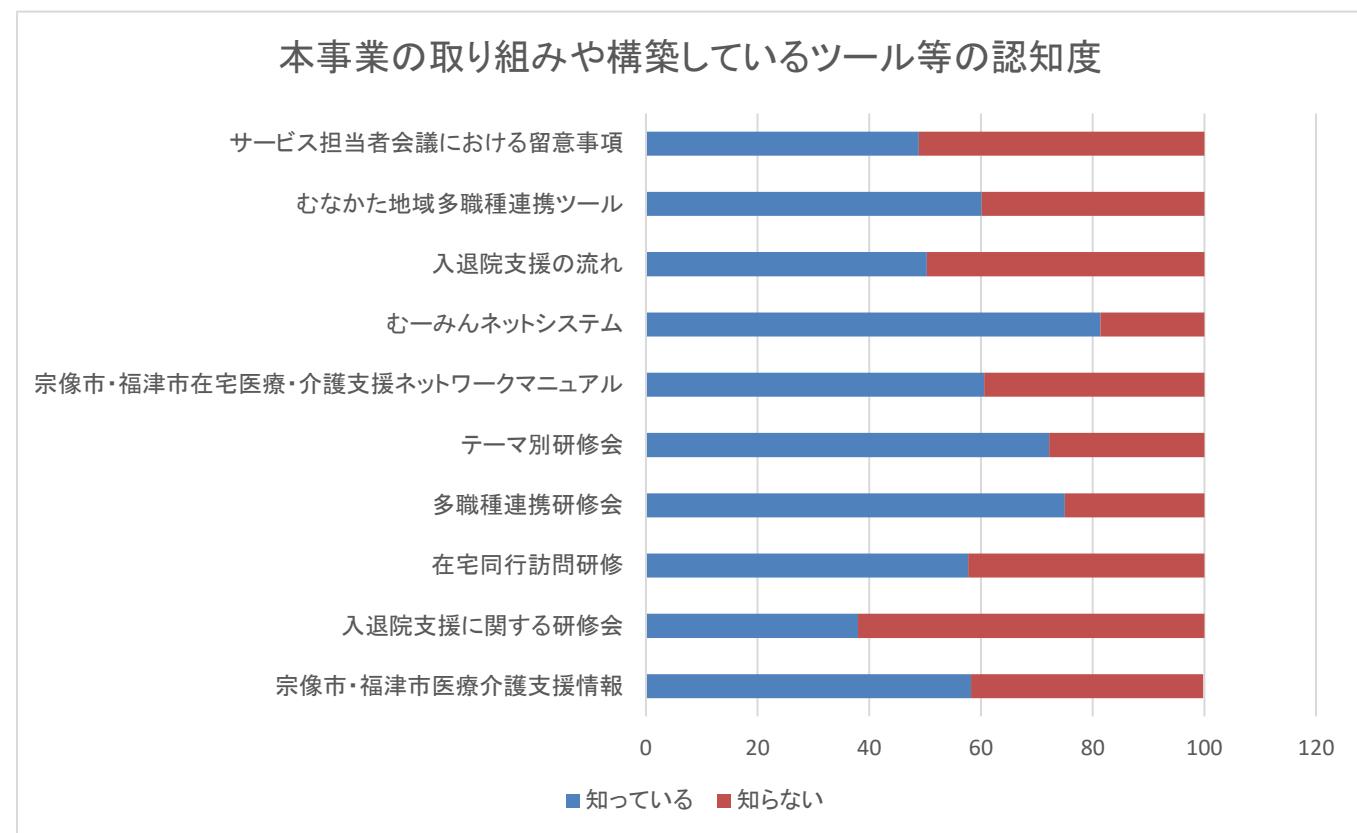
問6. 現在の情報共有方法で、苦慮していることはありますか。

(65件の回答)

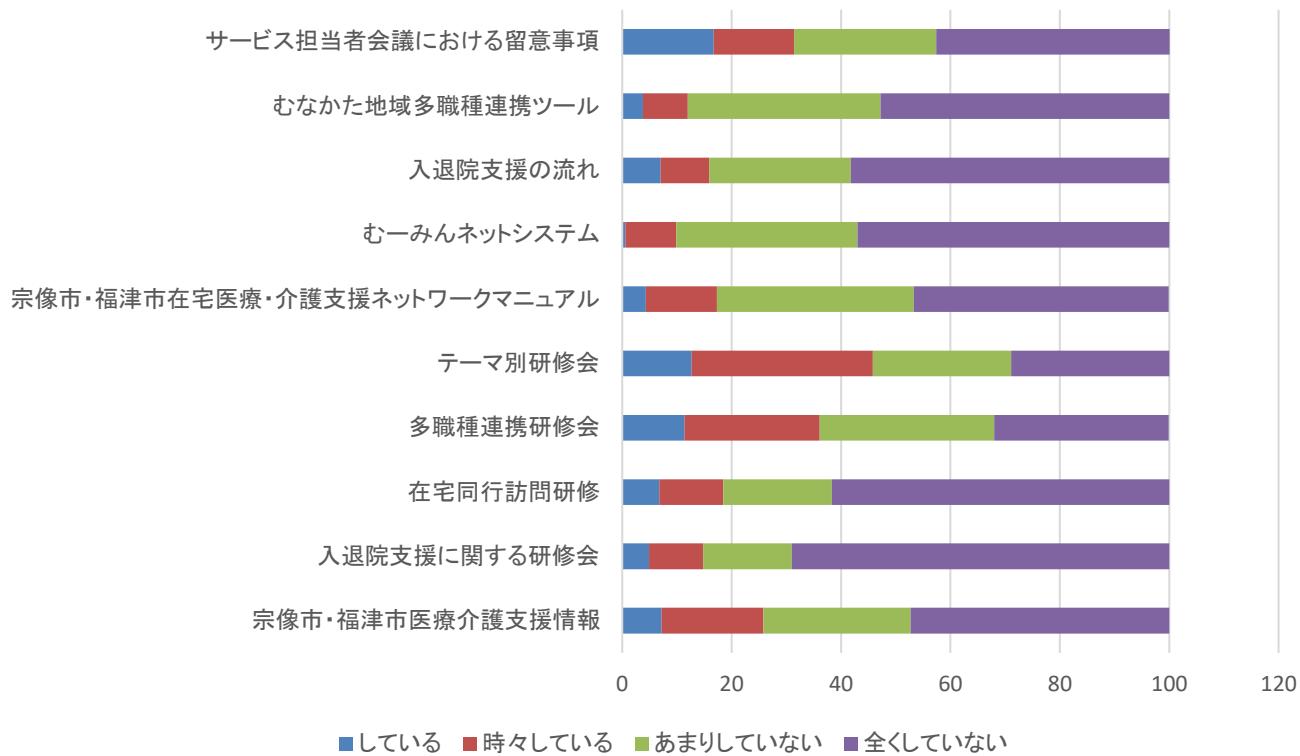
- ・特になし
- ・時間がとられること
- ・電話連絡だと、先方の都合により伝達までに時間がかかる。逆にご連絡いただいた際に、担当が不在だと相手先を待たせてしまうことがある
- ・人員不足による処理業務過多に伴い、院内外の多職種と日時調整を行うこと
- ・電話で情報共有したいが、担当者が業務(訪問)中でつかまらず、FAXやメールの一方通行での報告になってしまふ送迎や訪問終了後の17時すぎ～の電話調整になってしまい、互いに超過勤務になることもある
- ・医療職・介護職(特に無資格や浅い経験者)の共通言語が成り立たず、難しさはある
- ・電話、FAXでのやり取りが主なので、もっとタイムリーに情報を共有できる場が欲しい。物事を決めたり、判断するのに時間がかかり過ぎる
- ・情報共有ツールが多種多様となって来ており、各所に合わせたものを利用していくなければならない

III・本時事業の取り組みや仕組み、構築しているツール等の認知度、活用度

本事業の取り組みや構築しているツール等の認知度



本事業の取り組みや構築しているツール等の活用度



問7. サービス担当者会議における留意事項

「活用している」「時々活用している」の意見

- ・活用する事で法令的にも書類が整う他、担当者会議の席で照会事業所の意見を共有してもらうことが出来る
- ・サービス担当者会議の質の向上、多職種の相互理解、チームの信頼関係強化のため、定期的に確認を行っている
- ・準備ができていないときが時折あるため
- ・新しく入職したスタッフなどに活用
- ・時々読んで確認している
- ・担当者会議前に見返す
- ・定着してきました

「あまり活用していない」「活用していない」の意見

- ・必要となる場面に遭遇していないため
- ・なかなか段取り通りにいかない
- ・これまでの業務で特にトラブルもなかったので
- ・担当までに事業所内でプラン等の確認を行っているため
- ・今のところ必要性が無い
- ・新人の時には参考になるが、長年やっていると独自のものになるので利用していない
- ・負担が多い

問8. むなかた地域多職種連携ツール

「活用している」「時々活用している」の意見

- ・周知もされているし回答や情報をもらいやすいと感じる
- ・主治医に意見を伺う際利用している
- ・特に診療所等の主治医にご意見を求める時、情報連携シートを活用している。CMの意図する質問(医療系サービスや福祉用具例外給付の必要性)に応じた回答が得られず苦慮する時もある。
- ・訪問診療や歯医者に照会を得る時活用している
- ・医師への相談時に活用している
- ・ケアマネジャーより記入の依頼を受けることがあり、都度返答している
- ・電話よりもFAXの方が確実にやり取りできる
- ・医療系のサービス導入や更新の際に使用している

「あまり活用していない」「活用していない」の意見

- ・必要となる場面に遭遇していないため
- ・特に困ることがないので。
- ・受け取る側なので活発ではない
- ・今後使用しようと思っています。(ケアマネ歴浅い為)
- ・従来の慣れている手段を使うことが多かったため
- ・他のツールを活用
- ・活用することはあるが、頻度は少ないため。
- ・報告書の定型があるため
- ・電話でのやり取りが多い
- ・担当ケアマネから時々送られてくる
- ・導入しているレセプトソフトに入っているフォームを利用している
- ・独自の連携方法が確立している為優先順位が低くなっている。
- ・連携が取れているので、取り立てて活用する機会がない
- ・ケアマネが積極的に発信しなければ、他の事業所からは発信しにくいと思う

問9. 宗像・福津エリア入退院支援の流れ

「活用している」「時々活用している」の意見

- ・本人家族に説明しやすく、在宅支援と入退院の支援を切れ目なく行いやすい
- ・退院時に活用
- ・病院入退院の際活用している
- ・何度も活用している

- ・複数の病院、医院それぞれの対応などについての情報がとても有難く便利
- ・慣れている手段を使うことがあるため
- ・確認して実際に直接やり取りしている

「あまり活用していない」「活用していない」の意見

- ・必要となる場面に遭遇していないため
- ・直接病院の相談員さんと話をしてすすめていくので、特段活用したことがない
- ・病院も担当者によって対応が違うことがあるため毎回直接聞くようにしている
- ・使用する機会がない
- ・担当のご利用者様に入院された人がいない
- ・現状不足がないため
- ・現場での経験や伝聞で終わらせている
- ・今のところ必要性が無い
- ・対応の方法を知っているため
- ・病院MSWとの連絡やり取りはしっかりできているので必要ない

問10. むーみんネットシステム

「活用している」「時々活用している」の意見

- ・システムの研修会などには、積極的に参加するようにしている
- ・ネットワークを通じて患者紹介を受ける

「あまり活用していない」「全く活用していない」の意見

- ・利用する機会がない
- ・分かりやすさが足りない気がする
- ・使い方が難しい
- ・事業所のシステムとの相性
- ・環境が整っていない
- ・自社のツールを使用しているため
- ・他のチャットツールに勝ってる部分がない
- ・必要な状況にならなかつたので
- ・報告書を送付しているため

問11. 宗像市・福津市在宅医療・介護支援ネットワークマニュアル

「活用している」「時々活用している」の意見

- ・医療材料の発注の際に使用します
- ・困ったときに閲覧する
- ・借りれるデバイスなどを調べたりする
- ・多職種連絡シート記入の際、マニュアルを参考にしている
- ・連絡先の確認に使用している
- ・急ぐ事例程活用が必要だと思うが、業務に追われ、冊子を開くまでに至らない事が多いため

「あまり活用していない」「全く活用していない」の意見

- ・必要となる場面に遭遇していないため
- ・活用する場面が殆どないため
- 毎回必要ではないため。
- ・見る機会がすくない
- ・冊子を見る時間がとれない
- ・日々の業務に追われてる
- ・大体知っている内容なので
- ・現状で不足がないため。
- ・理解しているので
- ・情報は変わっている事もあり結局、電話して聞いた方が早いので。

問12. テーマ別研修会

「活用している」「時々活用している」の意見

- ・研修は助かる
- ・医療知識の更新に役立つから
- ・事業所で実施、参加機会が少ない医療系の専門的なテーマであるから
- ・最新の情報や知り得ない情報を得るために、個々の自己研鑽のため
- ・研修会の内容が、実際の職務に活かせる内容である
- ・参加して事業所内で共有している
- ・可能時は参加している
- ・オンラインは参加できている
- ・参加を心がけている
- ・案内を頂けるのはありがたい。時間帯で参加しづらい時もある。
- ・18時以降の研修は家庭の事情で参加は困難。

「あまり活用していない」「全く活用していない」の意見

- ・必要に迫られていないため
- ・積極的に参加できていないので
- ・都合がつかない
- ・時間が取れない
- ・業務多忙につき参加困難
- ・人員の問題で研修会等の参加も難しい。オンライン研修を増やしてほしい。
- ・研修会など夜にあるものが多く参加しづらい
- ・研修の日程が夜間帯が多いため参加が難しい

問13. 多職種連携研修会

「活用している」「時々活用している」の意見

- ・顔の見える関係作りという面でも必要だと思う
- ・研修は助かる
- ・多職種と意見交換が行なえ、CMの認識、見地が拡がる
- ・他職種を知ることができる
- ・参加を心掛けている
- ・職員の能力向上のため
- ・日程が合えば参加している
- ・18時以降の研修は家庭の事情で参加は困難

「あまり活用していない」「全く活用していない」の意見

- ・代表が参加する事が多く、人づてだと連携を感じにくい
- ・積極的に参加できていないので
- ・都合がつかない
- ・業務多忙につき参加困難
- ・以前参加したことが何度かあります

問14. 在宅同行訪問研修

「活用している」「時々活用している」の意見

- ・多職種の現場を見る機会は少ないので必要だと思う
- ・新人教育の一環
- ・配属したすぐの新人の勉強の時期に同行参加
- ・個別なので、仕事内容を知ることができる
- ・CMの経験と見聞を広げるため、よい研修の機会と考えている

「あまり活用していない」「全く活用していない」の意見

- ・コロナの時期で対面在宅同行訪問事業が出来なかつたため。
- ・時間がとれない
- ・機会に恵まれなかつた。
- ・興味はあるものの利用には至っていませんでした。
- ・有意義だと思うが、時間を取りにくい
- ・日々の業務の中で時間を作ることが困難なため。
- ・経験が長ければ訪問時に同席などもできる。新人教育としては良いと思う

問15. 入退院支援に関する研修会

「活用している」「時々活用している」の意見

- ・顔の見える関係作りという面でも必要だと思う
- ・CMとMSWで事例を通じて日頃の業務について意見交換を行い、MSWの立場からの困りごとを認識し、より良い連携に努める機会となっている
- ・スキルアップしたい

「あまり活用していない」「全く活用していない」の意見

- ・情報を取得できていなかったが、機会あれば是非参加したい
- ・必要時に都度病院に確認しているから
- ・必要性がない
- ・日程が合わず参加できていない
- ・失念していると思う

問16. 宗像市・福津市医療介護資源情報

「活用している」「時々活用している」の意見

- ・あると助かる
- ・必要時に見ている
- ・ホームページではなく、検索エンジンからとぶことがあったため
- ・病院、施設などを選ぶ際に参考にしている
- ・慣れれば使いやすい
- ・施設の情報収集、医療機関への連絡時に活用している
- ・施設の内容が分かりやすい
- ・問い合わせなどに活用
- ・情報収集のため閲覧もしている

「あまり活用していない」「全く活用していない」の意見

- ・必要となる場面に遭遇していないため
- ・情報は日々変わるので、結局電話して確認している
- ・多くの事業を展開されているので今後活用したいと思う
- ・意識していなかったかもしれない
- ・わざわざHPを開いて、随時アップデートされた情報を収集はしていません。必要時にDLすることは行っている
- ・直接病院や事業所に問い合わせるため
- ・あまり連絡を取ったことがない事業所へ連絡が必要なときに利用する
- ・必要時はネットで調べたりするため利用しない
- ・ネットに対して苦手意識がある

V. 多職種対象の集まりへの参加回数について

問16. 地域の多職種が参加する講演会や交流会等学びの場に過去1年で何回位参加していますか。

